



KSKQ どかどか No.295 ぽぽんがぽん news



笑顔あふれ つながりあえる社会へ
～ひとりひとりが自分らしく生きてゆけるために～



重度知的障がいのある方の自立生活支援について

さて、2023年度から法人事務所勤務に戻ってきて、久しぶりに自立生活支援の会議等に関わらせて頂いています。そこで今回は、重度知的障がいのある方の自立生活支援について少し触れながら書かせてもらいます。

ぽぽんがぽんでは、重度訪問介護を利用して自立生活(一人暮らし)をされている方4名(内、3人は知的障がい、1人は身体障がい)の支援をしています。その中のAさんについて。

実はAさん、2022年度はとでも大変でした。骨盤骨折等による約2か月の入院生活中は病室内でヘルパーが泊まり込みながらの支援、退院後しばらくしてAさんがコロナに感染され、防護着等感染対策を取りながらでの支援と立て続けました。本人さんの負担はもちろん、支援者の皆さんの負担も相当なものだったと思います。改めて感謝を伝えさせてもらいたい思いと共に、こういった状況下で支援にあたってくれた職員の皆さんが誇らしくもあり、この実績は重度知的障がいのある方の自立生活支援を実践されている、または目指されている方々への希望でもあると感じています。

この間、Aさん支援チームの会議に同席させてもらって、会話の端々から当事者主体で考える支援者の習慣を感じました。間違いなくこの考え方によって、困難な支援局面を乗り越えることができていると感じました。とはいえ、あまりに続く他害行為に対しては、ヘルパーとは違う立場から客観的な視点でのスーパーバイズや、障害理解に基づく支援手法も活用した具体的な手立ての実行、談笑を交えた支援実践の共有の機会、疲弊している支援者が元気に楽しく働ける環境をなんとかつくる必要があります。そろそろ宴なんかに誘ってもいいのかな、とも思いつつ。。。



内容

- ・ 重度知的障がいのある方の自立生活支援について
- ・ 車両購入のご報告とお礼
- ・ 今日のNANIKA
- ・ スタッフ紹介(グループホーム部門)
- ・ ろくちゃんまちをゆく
- ・ 授産製品紹介/寄付金等のお礼
- ・ 編集後記

2023年度も引き続き重度訪問介護を活用した重度知的障がいのある方の自立生活支援の実践について発信し、全国ネットワークである「知的障がいのある人の自立生活について考える会」との連携を継続しながら、大阪府内での実践的連携にも力を入れていきたいと思っています。

また、コロナの規制緩和が進みさまざまな活動が再開されている中、支援の根幹である「当事者主体で考える」ことを学び・感じることで活動にも取り組みなおしていく必要があると考えています。その際には、是非みなさんとも一緒にしたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

(事務局 長 水野昌和)

一九九二年九月三日 第三種郵便物承認 毎月(1:2:3:5:6:8)の日発行





しゃりょうこうにゆう ごほうこく おれい 車両購入のご報告とお礼

いばらきじりつしえん
新車購入 (トヨタハイエースバン・車イスリフト付) を3月末に行いました。

こうにゆう
購入にあたり、「公益財団法人 中央競馬馬主社会福祉財団」様の助成をいただきました。

またじよせいきん のぞくじ こふたんがん
また助成金を除く自己負担分を、社会福祉法人ぽぽんがぽんの後援会「つながりの会ぽぽんがぽん」様から
ごきふ
ご寄付いただきました。

せいかつかいごじぎょう
生活介護事業における送迎、ちいきかつどう
地域活動へのさんか
参加、さいがいじ ひなん
災害時の避難など、たいせつ しぎょう
大切に使用していきます。

この度は本当にありがとうございました！

ありがとう

いばらきじりつしえん
いばらき自立支援センター「ぽかぽか」「どかどか」

きょうのNANIKA

011

せいけつかいごじぎょうしょ
生活介護事業所ぽかぽか・とくどかに通う利用者さんの取り組みのなかで、
わたしたちえん
私たち支援スタッフや、利用者さん同士が「何かすごい」「何か良いなあ…」と感じた「何か」。
なまえ
名前をつけたり説明してしまう前に、まず色々な人に見て欲しい、
いっしょ
そして一緒に考えられたら良いと思います。



どかどかのたけうち
竹内さんがつくるねんどのたま
しょうかい
を紹介しします。



みどり
しろ
あお
きいろ
みどり
緑、白、青、黄色で、緑をつくる



まるくして、たいらにする



みづいろ
あお
みどり
水色と青を緑とつなげる



まる
丸にする



かんせい
完成



(題字：林裕之さん 文：山根康純)



スタッフ・事業紹介

グループホーム部門 ピース



はじめまして。昨年に入職致しましたと申します。現在、グループホームピースで勤務しております。
 簡単な自己紹介を致します！今までは障害者の施設や、高齢者施設で仕事をしておりました。障害者支援・
 高齢者の介護を経験し、障害者の方を支援する仕事に戻りたいと、ぽぽんがぽんに応募しました。



趣味は、ランニングと水泳、料理です。体力づくりと健康維持のために始めました。時々、マラソン大会(5k m、10k m、ハーフマラソン)や、クロスカントリー大会に参加しています。今年の1月には、夫婦で石垣島マラソン(10k m)に参加してきました。1月でしたが暖かく、天気の良い日は半そででも過ごせました。とても楽しい思い出になりました。しっかり体力をつけて、ピースの皆さんの支援に役立てたいと思っています！



石垣島マラソンで
完走したときにも
らったメダルです

ピースに入職して、約半年が経ちました。
 勤務初日、どんな方がいらっしゃるのかとどきどきしておりました。が！！緊張した私をよそに、新しい人だ！と興味をもって接してくださり、安心したのを昨日の事のように覚えています。

今では、ピースの方にお会い出来るのが楽しみになっております。

帰宅時のお出迎えや、入浴や、歯磨きの時、介助をさせて頂いておりますが、その時間私にとっては笑顔の時間です。お一人お一人とコミュニケーションをとれる時間だと、大切に過ごしたいと思っております。

未熟なところがありますが、ピースの皆さん、先輩

支援員の方、コーディネーターの方、皆さんやさしく相談しやすい環境ですので、恵まれている環境で仕事ができているなと思っております。今後とも、どうぞ宜しくお願いいたします。(辻)

おせち料理
を手作り
しました。



ろくちゃんまちをゆく NO.103



今回の記事は、今年の5月に実施したトヨタ自動車株式会社との意見交換会とそれまでの経緯についてお伝えしたいと思います。

— Japanタクシーの検証会を実施

トヨタ自動車株式会社のJapanタクシーが世の中で利用されるようになってきたのは、おそらく2018年からで、誰もが乗れるタクシーとして、Japanタクシーが開発されました。横のスライドドアが開き、スロープを設置することで車椅子でも乗車できるタイプになっています。

2019年1月に茨木のタクシー会社においてJapanタクシーの検証会を実施しました。ここでは大型の電動車椅子が乗車しづらいこと、スロープの設置や車椅子の固定に対して時間がかかることが課題として上がりました。その後、2020年2月に移動等円滑化評価会議近畿分科会で、トヨタ自動車株式会社のJapanタクシーと日産のN V 200の比較検証を行いました。(タクシーの比較検証については、「ろくちゃんまちをゆく No.97」で詳しく書かせてもらっています。でも、見てない方や忘れている方に説明を簡単にすると車椅子で乗車の場合、Japanタクシーは横からの乗車、N V 200については後ろからの乗車になります。)



ユーディー Japan の検証中



ユーディー (N V 200) の検証中

検証を踏まえて、トヨタ自動車株式会社と意見交換会の場を持つことを移動等円滑化評価会議近畿分科会に提案をしました。

— トヨタ自動車と国土交通省が大騒ぎ?!

私がトヨタ自動車株式会社にその旨連絡をしたところ、応対して下さった方にはうまく伝わらず、苦情として対応をされてしまい一度確認をすと言って電話を終えました。

移動等円滑化評価会議は国土交通省が管轄している会議であることを伝えていたためか、電話を終えたあと、トヨタ自動車株式会社から国土交通省に連絡が行き、国土交通省から近畿運輸局に連絡が行き、

そして近畿運輸局から私に返事がありました。トヨタ自動車株式会社、国土交通省と双方何事かとおおさわぎ大騒ぎになっていたようです。

— 念願の意見交換会開催

意見交換会については近畿運輸局が間に入り開催する予定としていましたが、コロナ禍の状況で2年間、のびのびでようやく、2022年5月31日にトヨタ自動車株式会社との意見交換会を実施することができました。

意見交換会では、乗車の体験と対面での意見交換を行いました。参加者は、近畿分科会の委員、当事者15名、学識者、行政職員を合わせると30名以上となりました。



リクライニングの車椅子 (乗車の様子)

乗車体験の車両では、改良型のJapanタクシー3台を名古屋から用意していただきました。改良型のJapanタクシーはスロープや車椅子の固定の改善がされており、改良前よりも固定についてはスムーズなところはありました。しかし、大型の電動車椅子では固定ができて、シートベルトが首に当たってしまうところもありました。また、リクライニ



背の高い車椅子 (乗車の様子)

ング(背もたれが調整できる)の車椅子では乗車したけどもドアが閉まらない事や背の高い車椅子では車両の天井に頭が当たってしまう事がわかりました。中部や関東でも障害当事者と車両の検証をされたみたいですが、ここまで大型な車椅子の検証をされていなかったようです。



リクライニングの車椅子 (乗車後)
ドアを閉めることができない



背の高い車椅子 (乗車後)
天井に頭が当たりそう

トヨタ自動車株式会社の話では、今後、何段階かに分けて、Japanタクシーを改良する予定のようで大型の電動車椅子でも乗車できるように願いたいと思います。また、新たに改良された車両で、意見交換会を実施できればと思います。

トヨタ自動車株式会社は、乗用車を世界中に販売しており、また、F1のレースでも世界で戦っていますので、今度は、タクシーでも世界に誇れる車両を作ってほしいと思います。

ろくじょうともあき (六條友聡)



いばらき自立支援センター「ぽかぽか」「とどか」自主製品のご案内

あくりるたわし



あぶらよごれ
油汚れがスッキリ
(小)50円
(大)100円

かたこりようつうよぼう
肩こり腰痛予防に。丸洗いで清潔
サイズ：XS～L 1000円～1200円

ぬのぞうり



ちびぞうり根付け



かぎのお供に
直径約3cm 450円

あくりるハンディモップセット



ホコリ取ります
(大)500円
(小)400円

つかいかたは自由
同柄5枚入
200円

てすきふうとう



上記の商品以外にもまだまだあります。
お買い求めは、下記へご注文をお願いします。

いばらき自立支援センター「ぽかぽか」 ☎072-635-5762 メール pokapoka@popongapon.com

ご支援、ご寄付、ご提供ありがとうございます！

2023年3月1日～2023年5月18日まで(順不同)

郵便振替の都合上、お名前が反映できていない場合は上記期間に限らず掲載させていただきます。ご了承ください。



社会福祉法人ぽぽんがぼんへご寄付ありがとうございました

新井様 鎮山様 内藤様 原田様 長島様
つながりの会ぽぽんがぼん様 匿名の皆様
林様 (エアドッグ (空気清浄機))

つながりの会ぽぽんがぼん (後援会) へのご寄付ありがとうございました

【募金箱】 吉永様 坂本様 埴淵様 ファミリーマート舟木町店様
グループホームおりーぶ様

アルミ缶・牛乳パックのご提供ありがとうございました

【アルミ缶】 ハロハロ様 舟橋様 浅野様 竹内様 藤本様 古川様
田中様 洗様 林様 作業所等へ持って来てくださった皆様
【牛乳パック】 萬谷様 ハシオダニ様 田中様 洗様 関西よつ葉連絡会
淀川産地直送センター様 ピース様 作業所等へ持って来て下さった皆様



ご寄付をご希望いただける方は
こちらまでお願いします
<払込取扱票をご利用される場合>
口座記号番号：00930-0-212299
口座名称：社会福祉法人ぽぽんがぼん

<口座振込をご利用される場合>
銀行名：ゆうちょ銀行
金融機関コード：9900 店番：099
店名：〇九九 (ゼトウキウ)
預金種目：当座
口座番号：0212299
口座名称
(漢字)：社会福祉法人ぽぽんがぼん
(カナ)：フク ポポンガボン

とうじしゃかつどうしえんとりくみしょうかい
ぽぽんがぽん当事者活動支援取り組み紹介

1年前、ロシアのウクライナ侵攻が始まったとき、
ぽかぽかの鎮山さんから「募金箱を作ろう！」と提案があり、
手作りして事業所や法人事務所に設置しました。
この度、ひとつの区切りとして日本ユニセフへ
2,860円を送金させていただきました。



★鎮山さんへのインタビュー★

あれから1年以上になりますね。

(鎮山さん) 広島にゼレンスキーが来たのは良かったね。リモートでなく本当に来たのは良かった。

募金箱を作ろうと思ったのはなぜですか？

(鎮山さん) 食べるものも何もなく困る人が出るから少しでも助けたいと思った。

東日本の震災のことも思い出した。ほんまは街頭募金もしたかったけど。

ピープルファーストの学習会で発表もしましたね。

(鎮山さん) ウクライナとロシアのこと調べて発表したよ。

今年のピープルファースト大会の告知をお願いします。

(鎮山さん) 10月13日(金)14日(土)クレオ大阪であります。僕も参加するよ。みんな来て下さい。



ありがとうございました。

(インタビュアー ぽかぽか山根)

今回は編集後記に代えて、ぽぽんがぽん当事者活動支援担当の鎮山伸吾さんの取り組みを紹介させていただきます。(太田吾郎)

- 法人本部、ヘルパー派遣、グループホーム窓口、相談支援
〒567-0888 茨木市駅前 1-4-14-3F Fax 共通 072-623-9203
法人本部 Tel 072-623-9202 (9:00~18:00)
グループホーム窓口 Tel 072-623-9202 (9:00~18:00)
ヘルパー派遣 Tel 072-623-9205 (9:00~18:00)
相談支援 Tel 072-623-9210 (9:00~17:00)
- いばらき自立支援センター「ぽかぽか」(8:30~17:30)
〒567-0850 茨木市真砂玉島台 8-20 Tel 072-635-5762 Fax 072-635-5763
- いばらき自立支援センター「どかどか」(8:30~17:30)
〒567-0842 茨木市五十鈴町 7-29-1FS Tel 072-637-6882 Fax 072-637-6883
- 茨木市子ども・若者自立支援センターくろす (10:00~19:00)
〒567-0842 茨木市片桐町 4-7 Tel 080-2467-5566
- ユースプラザ center エント (10:00~19:00)
〒567-0882 大阪府茨木市元町 4-7 ローズ WAM2 階 事務室 Tel 080-1521-4624



<https://popongapon.com/>



編集人:「障害者」の生活をひろげる場「どかどか」(社会福祉法人ぽぽんがぽん)
Tel(072)623-9202(お問い合わせはこちらまで)
〒567-0888 茨木市駅前 1-4-14-3F
発行人:関西障害者定期刊行物協会
〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町 2-2-東興ビル 4F 定価:50円



み
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。